

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年1月30日 No.29

3・1
ピキニデー

海外代表顔ぶれ決まる

被災54年目の3・1ピキニデーが1ヶ月に迫りました。核兵器のない世界へ、2010年のNPT(核不拡散条約)再検討会議にむけて、全国・世界に運動を広げる重要なとり組みです。3・1ピキニデーの諸行事に参加が決定している海外代表のプロフィールを紹介します。

美帆・シボさん=フランス在住。1982年にフランス広島・長崎研究所を設立。日本でアニメ「つるのつて」を製作・普及。2000年度、朝日歌壇賞受賞。

アバッカ・アンジャン・マディソンさん=ロンゲラップ環礁選出のマーシャル諸島共和国前上院議員。核実験の被害を引き継ぐため、マーシャルにロンゲラップ平和ミュージアムを建設する運動にも取り組んでいる。

イ・ジュンキュ(李俊揆)さん=高麗大学・大学院卒業。政治学修士。民主労働党平和軍縮運動本部政策委員として平和運動をスタート。2003年から平和ネットワーク政策室長として活躍。

ジョゼフ・ガーソンさん=1976年以来アメリカフレンズ奉仕委員会(AFSC)で活動、ニューイングランド地方責任者。新著に『帝国と核兵器』(発行・新日本出版社)。米核戦略研究の第一人者。

ホアン・ハオミン(黄浩明)さん=中国国際民間組織協力促進会(CANGO)副理事長・秘書長、中国人民平和軍縮協会・准教授、清華大学NGOリサーチセンター准教授、北京航空航天大学、公共政策管理学部准教授を務める。

「核兵器なくそう・世界青年のつどい'08 in 静岡」開催

「核兵器なくそう・世界青年のつどい'08」準備委員会は3月1日、「つどい'08 in 静岡」を焼津市文化センター小ホールで行います。第1部では、第五福竜丸元乗組員の大石又七さんからピキニ被災体験と青年たちへのメッセージや、「核・平和・貧困 いろんな青年と手をつなごう」と題したパネルディスカッションを行います。フランスで反核活動をしている美帆シボさん、早稲田大学大学院で学ぶエジプト人留学生のモハメド・アブデル・ラーマンさん、小森陽一東大教授のもとで学ぶ韓国人留学生の安天(アン・チョン)さんの3人をパネリストに、2010年にひらかれるNPT(核不拡散条約)再検討会議にむけて、核兵器をなくす世論を広げるための青年の連帯について討論・交流します。首都圏青年ユニオン書記長の河添誠さんがコーディネーターを務めます。

その他、全国の活動を1分間で紹介する「1分間スピーチ」など魅力的な企画を準備しています。第2部では少人数のグループに分かれ、パネリストを囲んで深めたり、感想を自由に語り合うグループトークを予定しています。参加費500円。問い合わせはTEL03・5845・6035/FAX03・5845・6033(担当・前川)まで。

3・1ピキニデー参加のよびかけ発表

日本原水協は1月30日、「核兵器のない世界、非核平和の日本へ 3・1ピキニデーへの参加をよびかけます」を発表しました。2010年のNPT再検討会議にむけて、核兵器廃絶を迫る2年間の運動の全国的出発点として特別の重要性をもつと強調し、すべての団体、地域から代表派遣をつよめようと呼びかけています。「よびかけ」を活用し、申し入れ行動など大きく広げましょう。

3・1パンフを活用し草の根からの学習すすめ代表派遣を広げよう